

第2章 夜間景観を考える際の基本的事項

都心臨海部における夜間景観を考える際のベースとなる事項をまとめています。

まず、「1. 本市における景観づくりの考え方」として、景観ビジョンで掲げる、市内全域において横浜らしい魅力を形成するための10のポイントを示しています。次に、「2. 都心臨海部の特徴」では、地形的特性や建物用途など、本ガイドラインの対象範囲である都心臨海部ならではの街の特徴を示しています。さらに、「3. 光の特性」では、夜間景観を形成する上で理解すべき光の特性を示しています。

都心臨海部における夜間景観については、本市の景観づくりの考え方をベースとしながら、その中でも都心臨海部ならではの特徴を捉えつつ、光の特性を踏まえ昼間の景観とは異なる観点でも考える必要があります。

これら3つの基本的事項を踏まえ、次章で本市が目指す都心臨海部における夜間景観の方向性を示します。



1. 本市における景観づくりの考え方

本市ではこれまでも市民や事業者とともに、魅力的な景観形成を進めてきました。他にない横浜らしい魅力を形成するため、景観ビジョンにおいては以下の点を大切にしています。夜間景観を考える上でも、これら10のポイントを踏まえて横浜らしい魅力的な夜間景観の形成に努めていく必要があります。

横浜らしい景観をつくる10のポイント（景観ビジョンより）

①街の個性と調和の取れた魅力的な街並みの形成

- 多様な個性あるエリアごとに、そのエリアならではの景観を守り、育てていきます。

②安全で快適な歩行者空間の景観づくり

- 景観を体験する場として、歩行者が安心して心地よさを感じられる空間を形成します。

③歴史的景観資源の保全と活用による景観づくり

- 街の記憶でありシンボルである歴史的建造物を、街の資源として大切に保全・活用します。

④水と緑の保全・活用と創出による景観づくり

- 人々に潤いと安らぎを与える資源である水・緑の空間は、質の高い空間演出を行い、街の魅力づくりにつなげます。

⑤身近な生活空間での景観づくり

- 一人ひとりができることから行動し、良好な生活空間を形成します。

⑥人々の交流や賑わいの景観づくり

- 空間だけでなく、人々の生き生きと楽しそうな姿も良好な景観として捉え、交流や賑わいが生まれる都市空間を形成します。

⑦街の個性を引き立たせる夜間景観

- 昼だけでなく夜の街並みについてもさらに魅力的になるよう、昼とは異なる都市空間の演出、安心できる歩行環境の確保などにより、地域の個性を引き立たせる魅力的な夜間景観を形成します。

⑧周囲に比べ、高さや大きさのある建築物の景観的工夫

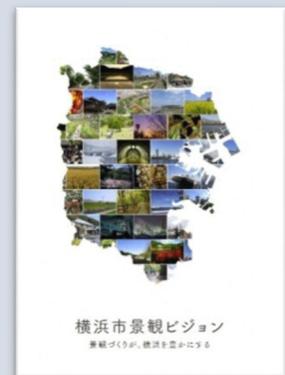
- 高さや大きさが突出する建築物については、周辺環境に配慮し、地域に貢献できる計画を目指します。

⑨屋外広告物の景観的配慮

- 景観的配慮を行うとともに、街をより魅力的にする広告物を推奨します。

⑩想像力がかきたてられ、物語性が感じられる景観づくり

- その土地、その場所にまつわる歴史や文化、街の人々の物語が想像できるような奥行きのある景観づくりを目指します。

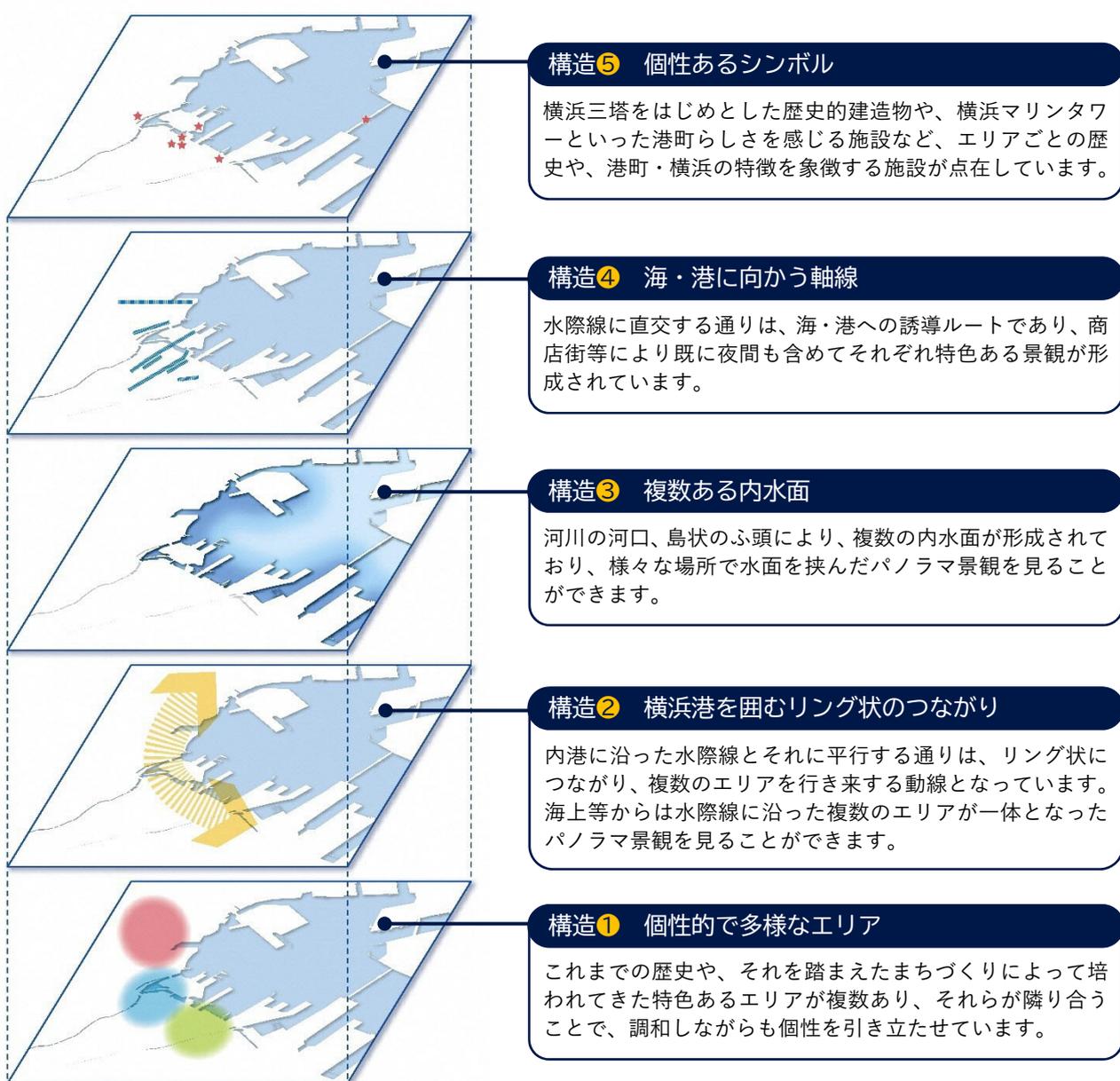


2. 都心臨海部の特徴

夜間景観を考える上で考慮すべき、都心臨海部ならではの街の特徴は次のとおりです。

都市構造

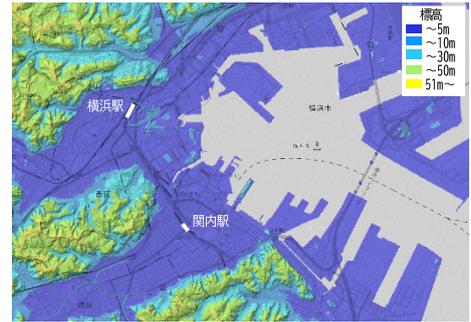
都心臨海部の景観は、これまでの歴史ではぐくまれてきた都市基盤が層状に重なり合って形成されています。



都市構造のイメージ図

平坦な地形

- 都心臨海部は、かつての海を埋め立てた土地を中心としており、平坦な地形が広がっています。
- 山の上などの絶対的なビュースポットから魅力的な夜間景観を眺められる他都市とは異なり、アイレベルで様々な場所から景色を楽しむことができます。



都心臨海部の平坦な地形（標高図）

出典：地理院地図（電子国土web）より作成

高層ビル群

- 都心臨海部には、オフィスや集合住宅、ホテルなどの高層ビルが数多く立地しています。
- こうした高層ビルからは、住民や来訪者などが、様々なアングルから街を見下ろし、一望することができます。
- また、これらの高層ビル群は、それら自身が特徴的な夜間景観をつくり出しています。



高層ビル群が建ち並ぶ

市民や来街者が住み・働き・楽しめる街

- 都心臨海部では多様な用途を積極的に誘致するまちづくりを進めています。
- そのため、オフィスビルや商業ビル、ホテル、エンターテインメント施設、大学、集合住宅等、多様な施設が集積し、就業者、観光客、学生、住民等の様々な人が集まっています。



多様な用途の施設が集積している

市民・事業者による様々なイベント

- 都心臨海部では、街の賑わい形成や、人々の交流等を目的に、商店街や市民団体など、地域に密着したものから、複数のエリアを跨ぐ大規模なものまで、昼夜問わず様々なイベントが行われています。



様々なイベントが開催される
(横濱 JAZZ PROMENADE)

多様な水上交通・水上アクティビティ

- 他都市と往来する大型の豪華客船や、観光遊覧船、屋形船、シーバス等による港内移動、カヤックやSUP等の水上アクティビティなど多様な水上移動手段により、水上から眺める街並みも都心臨海部における景観の楽しみ方の一つとなっています。



水上から街を眺める

3. 光の特性

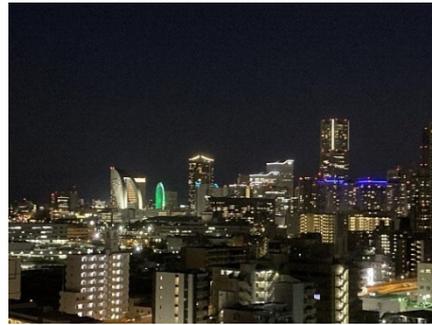
魅力的な夜間景観を演出するためには、光の特性を把握した上で、より効果的な照明計画を検討することが必要です。

光の影響

- 光はその強さや方向・角度、色合い、大きさ、位置等によって、周囲への影響範囲や人に与える印象が変化します。



オフィスの白系の照明と、低層部の暖色系の照明
(みなとみらい)



光源が大きく、強く、高い位置にあると、
遠方からも視認される(関内・みなとみらい方面)

光と影

- 光と影は一对で成り立っています。ただ一様に照らすのではなく、陰影があることにより、光が際立ちます。
- 光と影を効果的に使い、メリハリのある演出をすることで、陰影に富んだ印象的な夜間景観をつくることができます。



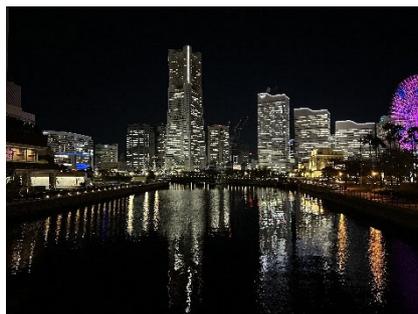
敷地同士の光の強弱(横浜郵船ビル)



陰影を際立たせたライトアップ(横浜税関)

光の反射

- 光には反射する性質があります。ガラスや水面に光が反射することで、照明演出の効果が大きくなります。



水面への光の映り込み(みなとみらい)